



# 地域学校協働本部だより

令和5年2月22日発行

港区立赤羽小学校 校長

地域コーディネーター

地域学校協働本部担当

NO.10

中村 美奈子

石川 啓子

大鷲 淳子

小林 砂織

湯浅 敬則

## ひな祭りに向けての玄関装飾

今月は、ひな祭りをテーマにした装飾です。桃の節句で、女の子の健やかな成長や幸せを祈り、お祝いの気持ちを込めて作りました。ひな人形の周りに、桃の花やひし餅やひなあられなどの可愛い飾り付けをしました。子供たちがひな祭りを感じる、素敵な装飾になりました。ご来校した際は、ぜひご覧ください。



ボランティアって何でしょう・・・

学校には多くの方々が応援に入ってくださっています。

地域にも多くの方々が、お互いの生活をより良くするために関わり合い、助け合って生活しています。

18日に赤羽地区避難所訓練がありました。

各町会から多くの方々が参加し、赤羽小学校の備蓄倉庫の中を見学したり、マンホールトイレの設置や実際に水を流したり、災害時の時のDVDを見ました。実際の災害時にガラスが降ってきたり、建物が倒壊し巻き込まれたり、何をどうすればよいのかをも考えさせられました。

赤羽小学校のこの玄関等の装飾は、コロナ禍の時に始まりました。

6年生の保護者の方は、覚えていらっしゃるでしょうか、「学校中を消毒」と言われ、先生方が大変な時がありました。そんな時に地域の卒業生が中心になり、先生方を応援しようと声が上がりました。リモートで在宅のお父さんたちも含めて町会関係など多くの方が応援しました。消毒が一段落した頃に始まったのが「玄関装飾」です。「コロナ禍でも学校に来た時に、明るい気持ちになってほしい」と始まりました。始めたころのメンバーとは変わってきていますが、子どもたちへの思いは、同じです。



ボランティアは、災害のある場所だけでなく、身近なところでもたくさんあります。そして「継続することが力になっていきます」ぜひ、皆様も「出来ることを、出来るところ」から始めていただけるようお願いいたします。(写真は、現在の赤羽サポート「赤サポ」の方々です)